

=uchi=modori=  
**打戻のム**

No. **0009** '05.4.10(日)

発行人: <sup>せしめびと</sup> 相田探求人 松岡賢二

神奈川県  
 Tel/Fax  
 E-mail



珍らし系の野菜 “” **コーララビ** “”

科名: アブラナ科  
 別名: カブキャベツ、球茎カンラン  
 野菜のカタログで出会いました。姿・形が珍しく、“” なんだ? コリヤ? “” の世界です。  
 普通に種まきして、普通に育つなかで、ある日 突然 地上部の茎が肥大化し始めます。みるみるうちに大きくなり、暁子ちゃんに言わせると「宇宙からの、....」になります。  
 食べ方は 生食・サラダ、中華風スープ煮、  
 実は 余り旨くない かな?

**春**!! **お水の血が騒ぐ!!**

まず 先生が見本を示して、...

おっかなびつくり 綾子ちゃん



耕起・鋤の使い方講習会?

腰つきが不安定な暁子ちゃん



春・夏作に向けて、1月10日  
 “鋤始めの儀”を済ましたら畑づくり・  
 耕起の始まりです。おっかなびつくりのスタイルから不安定な腰つきでも、懸命に鋤を振ります。このひと鋤・ひと鋤が収穫に結び付きます。

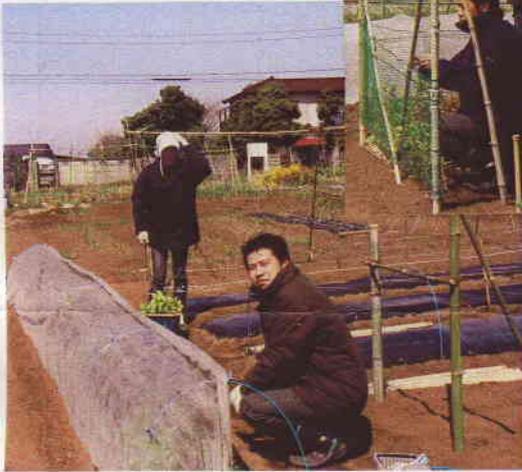
家族総出のはたけ仕事です。

ある日 ある時、それぞれの仕事の合間に現れ、こつこつと手伝い、足跡を残していきます。



四角隅・竹柵ネットの補修

お駄賃は 菜ものの収穫

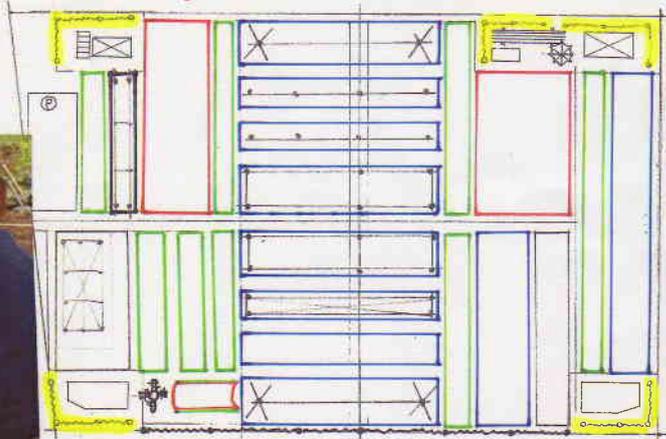


江戸川からの“援農人”  
たすけびと  
“ひろ&ふみ”

目玉作物のアーティチョーク と おれ



’05 Myはたけの畝立て



さとも場へ堆肥を入れる史子ちゃん



うしろ姿のおれ



収穫はすべて「笑顔」



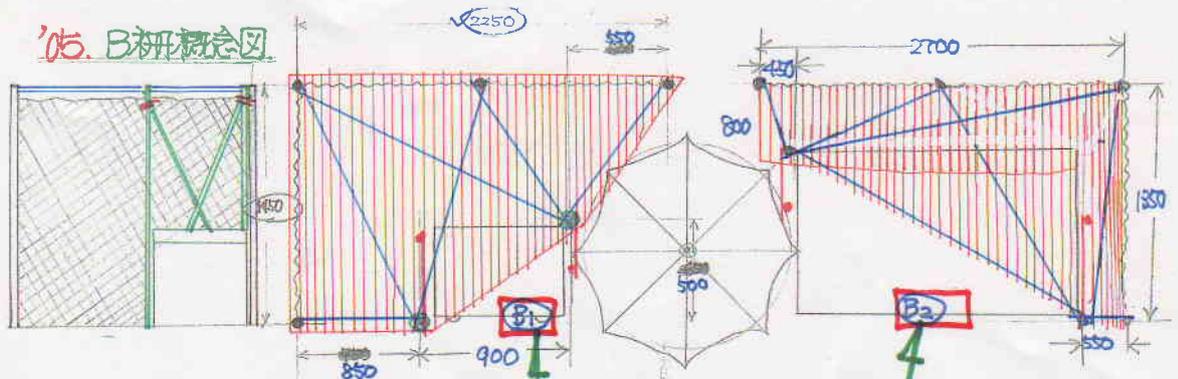
たまねぎの追肥

とう立ち野菜は お花ばたけに、.....

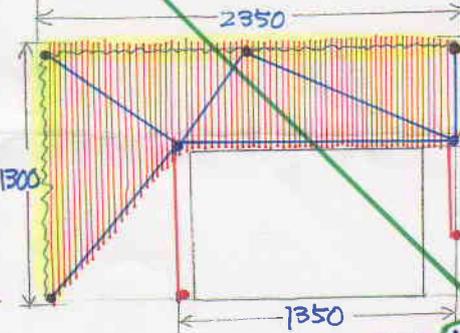
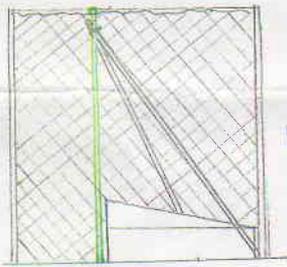


暇のなら人はいろいろと  
考えます。  
去年の4隅の竹柵を補強  
し、ここに“すだれ”を  
かけます。  
しこしこと「せいたかあわ  
だち草」の茎を集め、編み  
込み、夏の暑さしのぎと、  
“すだれ”にぶら下がる豆、  
にがごりを想像しています。

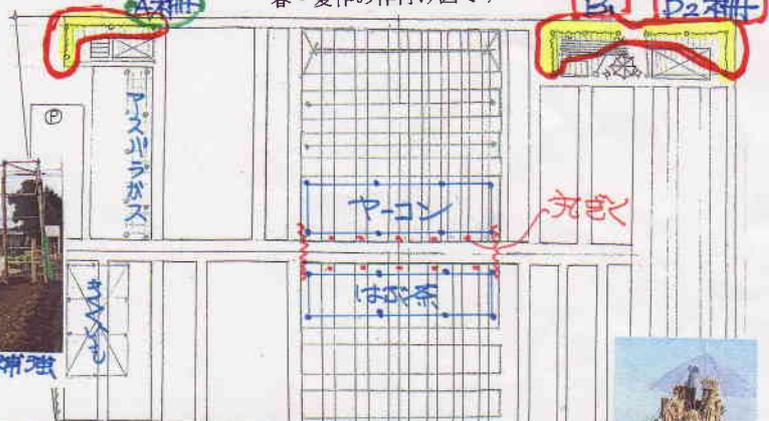
05. B柵概念図



A柵概念図



春・夏作の作付け図です

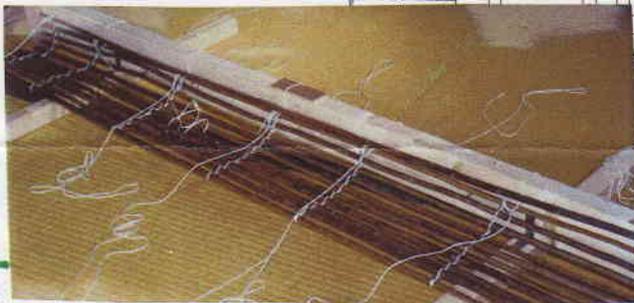


B1柵の補強



B2柵の補強

Doit で見つけた端材を  
安く買い込み、“すだれ”  
の編み込み作業台を作り  
ました。  
原価 395 円のすぐれもの  
です。



おぎん

立て架はす掛け

片隅には こんなものがあります。

お久しぶりです 元気ですか？

寒さ 寒さに震えながら、元気な「のら人」は はなみずを啜りつつ、はや  
春じゃがいものため、はたけを耕し、クド石灰を入れ、もぐら対策のコーヒー  
粕を入れ、うないこんでいます。  
10日-15日後には、さらに堆肥・元肥を入れ、さらにうないこんで はい  
一丁上がり、じゃがいもの植え付けとなるのです。

こんなはたけ仕事と並行して、せいたかあわだち草のすだれつりに凝っ  
ています。  
あの 秋になると、のっばらに黄色の花を咲かせ、秋の花粉症の原因にも  
なる雑草です。花が散った頃を見計らって、こいつのピンと伸びた茎を刈り  
取り、乾かして“すだれ”の材料にするのです。  
“すだれ”編みこみの台を作り、丈夫なタコ糸を捜し、部屋に広げて 職人  
芸の始まりです。あっちこっちにゴミを散らばし、綾子しゃんに叱られています。  
編みこみ茎の間には、10ミリくらいのビニールパイプを20ミリの長さで切った  
あいコマを入れ、適当な間隔を作り出します。  
“すだれ”の長さは、2、5-2、7メートルが3本、はたけの4隅にある竹柵  
の上に掲げるのです。補強した竹柵は、真四角ではなく、行き当たりばった  
りの手作りで、斜めになったり真っ直ぐになったりしています。  
出来上がった“すだれ”を掛け、綾子しゃんを呼んで「いいだろ いいもん  
だろ！」と自慢しています。  
この“すだれ”の合間から、にがごりやなたまめ・四角まめがぶら下がり、心地  
好い日陰を作りながら、ぶらぶらと風に揺れている、、、そんな光景を想像  
しながら、ともかく のめりこんでいます。



青空をバックに“すだれ”の晴れ姿です。  
斜めに切り込みながらの編み込みもクリアーした  
出来栄えに 我ながら「うっとり！」しています。  
ここには 福神漬けに使う「なたまめ」がぶら下  
がるのです。今から わくわくしています。

To: 松岡賢二・綾子 へ  
Subject: お疲れさまでした

05.2.15.

今日は、ありがとうございました。  
松岡さん、小泉さんをはじめ、たくさんの方のご協力で、無事盛況のうちに交流研修会が終了できて、取りあえずホッとしています。体験発表は、いずれの方もすばらしく、限られた短い時間の中でとてもよかったと思いました。もっと時間をとって、会場との質疑に時間をさけば、パネルディスカッションという形で半日コースという方法も可能だったように思いました。でも、今回は吉田さんの講演があったこともとてもよかったと思います。ちょっと難しかったという感想も少なからずありましたが、とてもよかったという意見も多く、私自身もあのレベルの内容を話せる講師はなかなか巡り会えないと感じました。すべてを理解できなくとも、「農業の今、そしてこれから」について何かしら感じるものが得られれば、十分よかったのだと思います。来年度以降、普及センターが農総研と統合することで、HFへの関与の仕方も変わるとは思いますが、よりよい研修体系になるよう年度内に道筋をつけておきたいと考えています。また、よきアドバイスをお願いします。ありがとうございました。

ps. あまりいい写真を撮れませんでした。記念に(?)数枚お送りします。



おぼろげなスライドは  
'03研修はたけとパンプキンかかし



発言のテーマは「協働とH/F」

あまりにも恐れ多く、“農楽塾”の仲間たちに絞る発言

始まりに“コールラビ”を掲げて、.....

こうして04年度は 終わりました。

Step-upして 300ヘーベ(約100坪)のMyはたけを耕しながら、お礼返し「秦ボラ・開拓ボランティア」、研修仲間と立ち上げた“農楽塾”の運営と「納戸役」、そして茅ヶ崎・里山公園の里山保全ボランティア“風の里”での「田んぼの守り役」、さらに その合間には、ことごとく台風に翻弄されながらの“棚田旅”。

思い出してみても、大変な それでいて楽しい、意義ある一年でした。

今日からの05年度も、さくら咲く真っ只中において、「そめいよしのの咲く頃には さといも・ねぎの植え付け、.....」などと、丸っきりの“のら人”気分になっています。

今年「田んぼの守り役」を辞退した分、“棚田旅”に振り向けられますが“農楽塾”がらみから H・F研修の自主的お手伝いが関わって来ます。

さて さて、どんな一年になりますやら? 乞う ご期待でしょうか?



ある日 ある時の富士山 何やら雪の少ない光景ばかりです